WEBにも掲載しています

大崎第一地域ニュース

はなぐるま

第185号　2026.10.20発行

編　集　はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3　TEL:3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp　FAX:3491-2002
発行元　大崎第一地域センター

大崎第一探訪

～地域の人や場所の「今」～

大崎第一地区を中心に、品川区の人物や施設をご紹介します。時代とともに変わりゆく地域の姿と、そこに暮らす人々を通して品川区の魅力を共に再発見しましょう。

今回は、西五反田に事務局を構える公益財団法人日本野鳥の会について、普及室普及教育グループチーフの江面康子さんにインタビューしました。

公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan



えづら やすこ
江面康子さん

まず、日本野鳥の会について教えてください。

江面さん（以下、江面）：1934（昭和9）年に、野鳥研究家で僧侶の中西悟堂（なかにし・ごどう）が創設しました。野鳥を自然のまま観察し、その環境を守るという考えのもと、富士山麓の須走で第1回の「探鳥会」を開催したのが始まりです。現在は全国に約3万人の会員がおり、寄付をしてくださる方などを含めると、約5万人の方に支えていただいています。

現在は、どのような活動を行っているのでしょうか。

江面：主に、野鳥やその生息地を守る自然保護活動と、野鳥や自然に親しんでもらうための普及活動を行っています。自然保護と自然観察を両立する施設「サンクチュアリ」の運営に携わるほか、全国各地の支部では「探鳥会」を開催しています。また、発信機を使って渡り鳥の移動ルートを調べるなど、野鳥を守るための調査・研究にも取り組んでいます。

これまでの自然保護活動で、特に印象的な取り組みを教えてください。

江面：一つ例を挙げると、北海道の鶴居村で長年取り組んできたタンチョウの保護があります。タンチョウは、大正時代には絶滅したと思われていましたが、その後の地域のさまざまな方々や当会の保護活動によって個体数や分布域が回復し、2026年に公表された環境省のレッドリストでは、絶滅危惧種ではなくなりました。



<タンチョウ>
（鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ）

身近な野鳥を見守るための活動にも取り組んでいるそうですね。

江面：ツバメの子育てを見守っている企業や団体、学校などに感謝状を差し上げ、人と野鳥が共生する大切さを伝えています。春から夏には、地面にいるヒナを見つけてもむやみに拾わないよう呼びかけています。また、12月には近隣の第四日野小学校で、子どもたちに野鳥や自然について伝える授業も予定しています。



<コゲラ>



<シジュウカラ>

都内でも野鳥を楽しむには、どうすればよいでしょうか。

江面：インターネットから申し込んでいただくと、身近な野鳥を紹介する「おさんぽ鳥図鑑」を無料で配布しています。未使用の切手を寄付してくださる方もいて、次の方へ図鑑を発送する際に活用しています。もっと野鳥を見たいという方には先ほどお話しした「探鳥会」もおすすめです。「日本野鳥の会 探鳥会」で検索すると、全国各地の開催情報をご覧いただけます。11月、12月には日比谷公園で初心者向けのバードウォッチングも開催される予定です。



希望者には小冊子『おさんぽ鳥図鑑』を無料で配布しています

＜初心者向けバードウォッチングのご案内はこちらの二次元バーコードから確認できます＞

最後に、地域の皆さんへメッセージをお願いします。

江面：スズメなど普段から目にする鳥も野鳥ですし、秋から冬にはジョウビタキなどの渡り鳥も街中で見られます。秋冬は木の葉が落ちて鳥を見つけやすくなるので、木の梢を見たり、鳴き声に耳を澄ませたりしてみてください。思った以上にいろいろな鳥が見つかりますよ。

公益財団法人日本野鳥の会
所在地：東京都品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
公式ホームページ：https://www.wbsj.org/
※探鳥会などのイベント情報や入会方法は、公式ホームページをご覧ください。双眼鏡や長靴、野鳥をモチーフにしたグッズなども販売しています。

（編集委員　白根）

大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにもSNSやサイトで、地域の様々な情報を発信しています♬ ぜひご覧ください！
※後日、地域共創メディア「大崎×五反田LINK」にカラーの記事が掲載されます♪
X（旧：Twitter） @osakidai1
Instagram osakidai1
大崎×五反田Link OSAKI×GOTANDA LINK 地域共創メディア『大崎×五反田LINK』

中原児童センター

ベビーマッサージ

日時：11月9日（月）10：30～11：30
講師：一般社団法人品川港助産師会
対象：おおむねハイハイ前のお子さん
定員：12組
持物：バスタオルまたはおくるみ、水分補給できるもの
申込：10月1日（木）～来館または電話受付

おしえてスラックライン

日時：11月12日（木）16：00～17：30
講師：我妻　吉信氏
対象：幼児親子～小中高生
備考：スカート不可。ズボンを履いてきてね。

東五反田児童センター

はいはいよちよち　絵本の時間

日時：11月5日（木）10：30～11：30
講師：児玉ひろ美氏（JPIC読書アドバイザー）
対象：0～2歳児親子　先着順15組程度
申込：10月8日（木）～10月31日（土）来館または電話受付

親子ヨガ

日時：11月14日（土）10：30～11：30
講師：中鉢友梨先生
対象：0、1歳児親子
定員：12組
申込：10月26日（月）～来館または電話受付

お問い合わせ：中原児童センター 03-3492-6119
東五反田児童センター 03-3443-1629

区民まつりが行われました

大崎第一地区では、今年も各地で品川区民まつりが開催されました。

6月に開催予定だった五反田ふれあい水辺広場会場は台風のため中止になってしまいましたが、7月には第三日野、第四日野、第一日野小学校を会場として、各会場で町会・自治会等による模擬店、ゲームコーナーや盆踊りなどが行われました。子どもたちが楽しそうにゲームに興じ、模擬店のかき氷や焼きそばなどを頬張っていたのが印象的です。まつりの最後、参加賞のお菓子を受け取った子供たちの笑顔から、素敵な夏の思い出となったことがうかがい知れました。

大変暑い時期の開催となりましたが、どの会場も多くの方にご来場いただき、大きな事故・けが等もなく、今年も無事にまつりを終えることができました。参加してくださった皆様、運営にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。（事務局）




品川区内の大使館・領事館をご存知ですか？

品川区には地の利もあってか15か国の大使館や領事館があります。

大使館側の求める場所として、騒乱がなく警護がしやすい町ということもあるそうです。住みやすい町として品川区が選ばれているのかもしれません。また区内では、大使館と学校や様々な区の施設との交流も行ったりしています。今回から断続的に区内の大使館やそのお国情報等をご紹介します。どうぞ、お楽しみに！

大使館（13か国）
1. インドネシア共和国　2. 北マケドニア共和国　3. コロンビア共和国
4. ザンビア共和国　5. ジブチ共和国　6. タイ王国
7. タジキスタン共和国　8. ブルネイ・ダルサラーム国
9. ベラルーシ共和国　10. マリ共和国
11. ミャンマー連邦共和国　12. コートジボワール共和国
13. ボツワナ共和国
領事館（2か国）　1. ブラジル連邦共和国　2. ペルー共和国

川柳・俳句

夕やけに　電車行き交い　安堵する
西五反田在住　大島 道子

水たまり　雨粒はねる　夏の暮れ
品川区在勤

地域ニュース「はなぐるま」では、
川柳・俳句・イラストを募集しています！
右記二次元コードから、ぜひご応募ください！

総合防災訓練　西五反田谷山会

今年も熊本県など日本の各地域での大きな地震や、大雨による浸水被害などの自然災害が頻繁に発生していますが、日頃からわたしたち一人ひとりが平常時の備えと災害時の行動に関する防災意識を持つことで、自身や家族を守ることに繋がります。

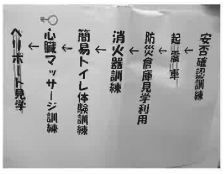
品川区内の各町会・自治会等では、災害発生時の地域での被害を最小限に抑えるため、様々な防災対策に取り組んでいます。

9月5日（土）には、行政や消防署の協力のもと、西五反田谷山会が主催する防災訓練が行われました。雨天の中、地震発生を想定した緊急地震速報（テスト用）の受信連絡をうけて訓練が開始され、参加者は安否確認連絡や心臓マッサージとAED、消火器の操作、簡易トイレの使用、防災倉庫の資材確認と、様々な訓練メニューを体験しました。

地域の防災意識をより一層高める良い機会となり、訓練に臨む皆さんの姿を拝見して、地域が一体となって行う定期的な防災訓練や啓発活動がとても重要であるとあらためて認識しました。（事務局）





編集後記

令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨で被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また、記事を書いている本日（8/27）には、石川県・富山県で線状降水帯が発生し、こちらも心配な状況です。

世界的にも地震や熱波、山林火災などの災害に見舞われ、自然の脅威と理不尽さを痛感、地球規模で、今、気候変動の転換点に立っていることを実感させられた夏でした。

そのような中、私たちは何ができるでしょうか。

小さな私たちができることは些細なことかもしれませんが、目指す未来を共有し、行動に移すことが大事なのだと思います。

気候変動による影響を少しでも減らし持続可能な社会を次代につなげるために、改めて、各々がそれぞれの考えのもと、できることに取り組む必要性を感じています。（外山）

● 地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や川柳・俳句・イラストなどお気軽にお寄せください。
編集委員も随時募集中です！一緒に紙面作りをしましょう。大崎第一地域センター　電話 3491-2000　までご連絡ください。